



2015.8.04

ガバナンスとマネジメント

今回は**ガバナンス**と**マネジメント**の定義について書きたいと思います。

” **ガバナンス**とは、ステークホルダーのニーズや、条件、選択肢を**評価**し、優先順位の設定と意思決定によって**方向性**を定め、合意した方向性と目標に沿ってパフォーマンスやコンプライアンスを**モニター**することで、**企業の目標がバランスを取って、合意の上で決定され達成されることを保証する**ものである。”

” **マネジメント**とは、企業の目標の達成に向けてガバナンス主体が定めた**方向性と整合**するようにアクティビティを計画、構築、実行し、モニターすることである。”

COBIT 5 : A Business Framework for the Governance and Management of Enterprise IT 日本語版より抜粋

※一部日本語をここでは修正しています。

この COBIT 5 のガバナンスに関する「評価」「方向付け」「モニター」の活動は、ITIL® 2011 Edition SS(Service Strategy)の 第5 章 にも反映されて、COBIT 5 と ITIL® 2011 Edition の親和性が高まっています。

そして、COBIT 5 のガバナンス目標は、“**価値創出**”であり「**効果の実現**」「**リスク最適化**」「**資源最適化**」をねらっています。

ガバナンスの定義にあるように「企業の目標がバランスを取って、合意の上で決定され達成されることを保証する」には、**リスクと資源を最適化し、効果を実現するためのガバナンスが必要**というわけです。